

令和7年2月7日
保健福祉局総務課(582-2403)

令和7年度当初予算 概要

「モモマルくん」

人権の約束事運動「ほっとハート北九州」
マスコットキャラクター



令和7年2月
保健福祉局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	175,931	167,848	8,083
国民健康保険 特別会計	94,831	97,870	△ 3,039
介護保険 特別会計	109,464	108,879	585
後期高齢者医療 特別会計	20,728	19,661	1,067
食肉センター 特別会計	359	362	△ 3
市立病院機構病院事 業債管理 特別会計	3,462	3,103	359
病院事業会計	850	847	3
合計	405,625	398,570	7,055

※一般会計については、職員給与費を含まない。

2 主要施策

I 健康づくりの推進・在宅医療の充実

稼げるまち

新規

女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業 【11百万円】

女性にやさしい社会づくりに向け、女性の健康に配慮した職場環境を推進するとともに、女性自身の健康リテラシー向上等の取り組みを進める。

【取組の柱1】女性の健康に配慮した職場環境の推進

北九州市働く世代の健康づくり推進会議(プラットフォーム)と連携実施

①実態調査 (月経に関するアンケート)

[対象]
・小規模事業場の経営者
・働く女性

②啓発資材の制作と広報

[啓発資材の内容]
・女性の月経にまつわる困りごと
・女性の健康課題に対して事業所が取り組みやすいアクションリスト など


■ 魅力ある会社づくりで雇用の維持・確保

【取組の柱2】女性自身の健康への関心とリテラシーの向上

③大学生向け参加型セミナー(若年者向け)

市内大学で実施

[テーマ] 月経の悩みへの対処法
・婦人科の活用術 など

④民間事業所と連携した検診

※健康診査受診促進事業1百万円

ドラッグストアの駐車場で、休日等に乳がん検診、骨粗しょう症検診を実施


■ 働く女性のWell-beingの実現

稼げるまち

新規

働く世代の健康づくり推進事業 (地域・職域連携の推進)

 北九州市健康づくり推進プラン
健康に生きる、笑って生きる。

【8百万円】

就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で新たに設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取組を進める。

地域保健関係者



職域保健関係者、有識者など

推進体制(プラットフォーム)

「北九州市働く世代の健康づくり推進会議」
↳ 「(仮称)普及啓発部会」

○それぞれの課題や取組を共有し、目指す方向(ベクトル)を合わせ、協働内容を共に考える

連携・協働により取組を実施



【取組内容】

- ①健康経営の推進
 - ・啓発資材(チラシ等)の作成・配付
 - ・経営者等を対象とした小規模セミナーの開催
- ②生命保険会社等との協働によるがん検診の受診促進
- ③事業場が行う健康づくり活動への支援


■ 事業場における健康経営の機運の醸成


■ 就労世代の健康状態の改善

稼げるまち

拡充 「生涯現役」元気に動ける身体づくり事業

【3百万円】

高齢になっても生涯現役を目指し、元気に動いていきいきとした生活を送ることができるよう、健康づくりや介護予防に関する正しい知識の理解促進を図るための講演会等を開催する。

※「フレイル予防で認知症予防」をテーマとし、集中的に認知症啓発に取り組んでいる9月の「認知症月間」に行う。

- 開催時期：令和7年9月中旬
- 実施内容：（1）有識者による講演会、市長とのトークセッション
 （2）体験型イベント・ブース展示等
 - ・自主グループによるひまわり太極拳・きたきゅう体操
 - ・ロコモ度チェック
 - ・耳の聞こえ相談
 - ・認知症VR体験



認知症VR体験



みんなでひまわり太極拳



ロコモ度チェック



耳の聞こえ相談

など

安らぐまち

拡充 在宅医療普及啓発事業

【12百万円】

在宅医療に取り組む医師の確保や在宅医療への理解促進を図るため、医師等を対象とした研修会を開催するとともに、啓発資材の作成・配布や市民向け講演会等による普及啓発を実施する。

在宅医療の現状と課題

- 高齢化の進展に伴い **医療・介護ニーズは増加傾向**
- **訪問診療患者数も年々増加**
- 一方、在宅医療を提供する **医療機関や医師は増えていない**

住み慣れた地域で療養しながら安心して暮らし続けることができるよう、在宅生活を医療面から支える **在宅医療の普及促進が必要**

令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> ■ 医師等向け研修会（座学・同行訪問診療） 	<ul style="list-style-type: none"> 継 ■ 医師等向け研修会（座学・同行訪問診療）
<p><参加者アンケートの結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 70%以上が「在宅医療の開始や拡充を検討中」と回答 ▶ 今後要望する支援として、研修会の開催希望の割合が高かった <p>⇒ 令和7年度 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 拡 ■ 啓発資材の作成・配布（市民向け啓発チラシ及び医療機関向け冊子）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 啓発資材の作成・配布（市民向け啓発チラシ） 	<ul style="list-style-type: none"> 新 ■ 市民向け講演会

II 地域福祉・高齢者福祉の推進

安らくまち

拡充 未来の介護大作戦

【144百万円】

継続 先進的介護「北九州モデル」推進事業



【46百万円】

介護人材不足に対応するため、介護ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進を図る。また介護助手活用モデルの社会実装による深化・拡充に取り組むとともに、在宅版「北九州モデル」の構築を推進する。

○介護助手活用モデルの普及

令和6年度のモデル実証を踏まえ構築した「介護助手活用モデル」の普及を図るため、

- ・ガイドライン作成
- ・普及啓発用のPR動画を作成
- ・関係団体と連携し普及促進に取り組む。



○在宅版「北九州モデル」の実証

令和6年度の在宅介護事業所調査により特定される業務課題とその解決策について仮説を立て、その検証のための実証を行う。

拡充 介護シェアリング都市推進事業

【21百万円】

地域全体で介護をシェアリングすることや介護職に対する認知度の向上やイメージアップにつながる情報を発信することで、介護人材不足などの課題解決を図る。

関連事業

- ・介護のすそ野拡大推進事業
- ・外国人介護人材育成支援事業
- ・「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業など



新規・
拡充

(仮称)テクノケア北九州運営事業関連

【77百万円】

介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、「介護実習・普及センター」と「介護ロボット等導入支援・普及促進センター」を統合し、在宅生活を支える支援拠点として2025年夏にリニューアルオープンする。

2025年夏オープン

(仮称)テクノケア北九州
～ラクなケア～

指定管理(R7～R11年度)
麻生教育サービス株式会社 北九州支店

介護実習・普及センター（福祉用具プラザ）



介護ロボット等導入支援・普及促進センター

拡充 認知症啓発促進事業

【9百万円】

認知症に関する正しい知識を広め、認知症の人やその家族が安心して暮らせる認知症にやさしいまちづくりを行う。

認知症月間事業	市民向け・企業向け啓発事業	認知症VR体験プログラム事業
<p>・9月の認知症月間に合わせ、認知症の正しい理解と知識の普及・啓発を重点的に呼びかける。</p>  <p>オレンジ・ライトアップ 認知症月間イベント 認知症ブックフェア</p>	<p>・ものわすれが心配な方や、認知症の方を介護している家族に向けて、サービスの普及啓発を図る。 ・企業においても、認知症に関する相談窓口などの周知を行う。</p> 	<p>・認知症に対する理解促進を深めるため、認知症の人の見え方を体験するVR体験プログラムを実施する。</p> 

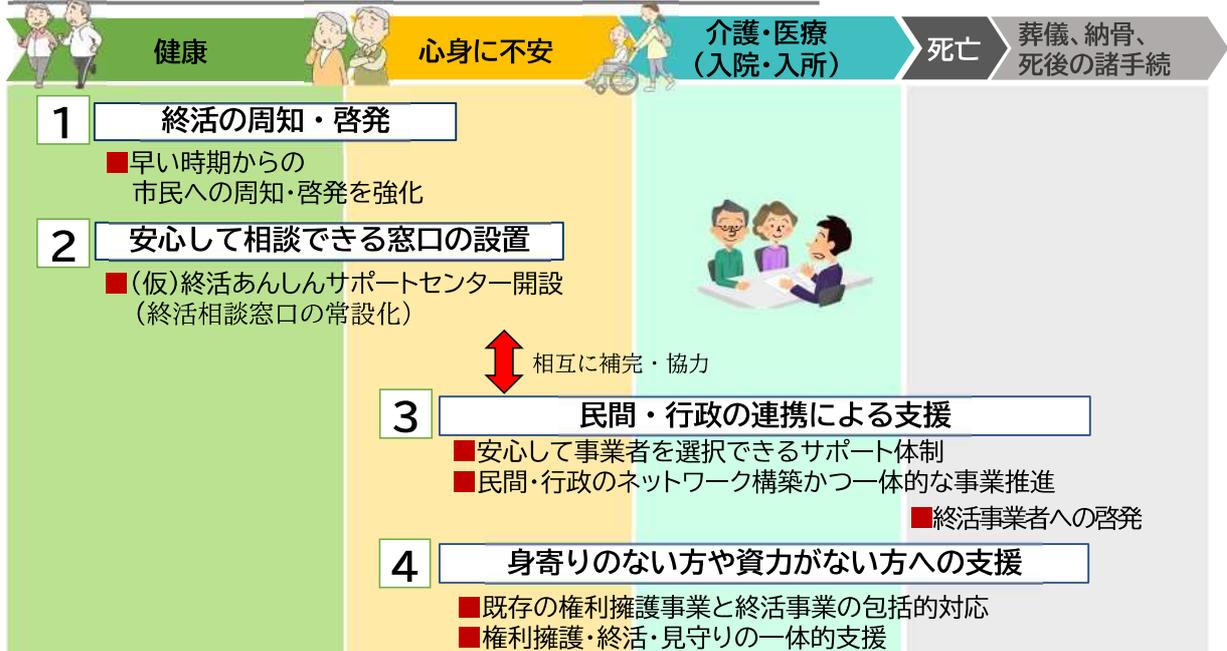
新規 安心して歳を重ねることができる終活支援事業

【5百万円】

人生100年時代を迎えようとする中、持続可能な高齢化社会の構築を図るため、誰もが自分らしく安心して終活の取り組みを行えるよう、民間の力を最大限に活用しながら、終活を推進する仕組みづくりを行う。

終末期に身寄りのない高齢者も安心して自分らしく歳を重ねることができる仕組みづくり

高齢者のライフステージに応じた終活支援の取組イメージ



拡充 福祉の重層的支援体制強化

【47百万円】

少子高齢化など社会環境の変化を背景に人と人とのつながりが希薄化する中、8050問題やダブルケアなど、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化し、従来の分野別の支援制度では対応が難しい事例が顕在化している。

こうした課題に対応するため、国において、「①相談支援」「②参加支援」「③地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業により、**分野を超えた多機関による支援や、人と人とのつながりづくりを進めることとした。**

北九州市では、「いのちをつなぐネットワーク」を強化・充実することで、重層的支援体制整備事業に取り組む。

いのちをつなぐネットワーク（市独自）

重層的支援体制整備事業（R7～）

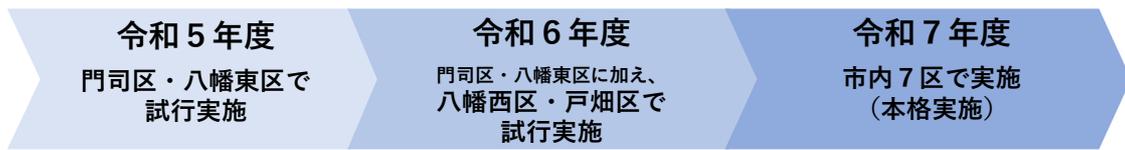
≪相談者本人・世帯の個別支援≫		≪すべての地域住民の地域づくり≫
【①相談支援】 属性にかかわらず、地域の様々な相談を受け止める	【②参加支援】 ・ 社会とのつながりや参加を支援 ・ 社会との接点の確保・包摂の支援 ・ 多様な社会参加 など	【③地域づくりに向けた支援】 ・ 居場所をはじめとする多様な場づくり ・ 日常の暮らしの中での支えあい ・ 住民・社会資源・行政間のネットワークの構築 ・ 人と人、人と社会資源のつなぎ

民間活力の活用で【①相談支援】【②参加支援】を強化

～市内7区で実施～ 拡充予算 47百万円

≪民間活力による強化ポイント≫

- 相談支援：相談支援のうち、訪問等により継続的につながり続ける伴走型支援
- 参加支援：地域の社会資源を活用した社会とのつながり作り
つながり先での定着を支援



新規 民生委員児童委員一斉改選事業

【10百万円】

令和7年12月1日の一斉改選に向け、体制整備や民生委員活動に必要な物品購入に係る経費を計上し、引き続き民生委員・児童委員活動がしやすい環境を整備する。（一斉改選は3年毎に実施）

■主な活動内容



Ⅲ 障害福祉の推進

安らくまち

拡充 パラスポーツ体験を通じた「心のバリアフリー」促進事業 【1百万円】

子どもたちを対象としたパラスポーツ体験を通じて、障害や障害のある人の理解や相手への思いやり、コミュニケーションの重要性などの気付きを促し、「心のバリアフリー」の推進を図る。

- 対象：小学校(4～6年生)、中学校(1～3年生) 計10校程度を募集
- 講師：障害者スポーツ団体から招聘

【授業内容の一例】

- ① 視覚障害のある人の特性や対応の学習
- ② ブラインドサッカー等の体験学習
- ③ アンケート記入



「パラスポーツ体験」と「障害特性の学習」をセットで実施

パラスポーツの認知度の向上

障害に対する理解の促進

「心のバリアフリー」を推進

安らくまち

拡充 発達障害者総合支援事業 【37百万円】

発達障害のある人や強度行動障害を有する人の地域生活の安定と福祉の向上を図るため、発達障害や強度行動障害についての普及・啓発、発達障害者支援センター(つばさ)の運営等を実施する。

「つばさ」 本所 小倉南区春ヶ丘(小倉総合特別支援学校2階) 西部分所 若松区大字小敷(小池学園内)
事業内容 (発達障害のある人や家族からの発達に関する相談対応、発達障害の研修・啓発等)

拡充

強度行動障害支援者への支援 (研修・啓発・連携強化)



「発達障害者支援センターつばさ」を中心として発達障害支援と合わせて強度行動障害支援を実施

支援者の知識・技術の向上

支援者間の連携強化を促進



強度行動障害の支援体制を推進



<取組内容(予定)>

強度行動障害に関する

- ① 障害福祉サービス等事業所従事者向けの研修
- ② 相談窓口等の適切な情報発信
- ③ 関係機関や事業所が交流できる場の企画・運営

➔ 継続的な支援につながる体制の構築を図る

IV 保健・衛生管理体制の充実

安らくまち

新規 健康危機に備えた市民のリテラシー向上事業

【4百万円】

健康危機(感染症・食中毒・医薬品等)の発生・拡大防止のため、市民一人ひとりが、感染症や食中毒の予防、医薬品の適正使用等について正しい知識を持ち、実践、継続できるようリテラシーの向上を図る。

感染症予防



食中毒予防



医薬品の適正使用



対象者に
応じた
啓発
プログラム

○小学生、中学生、高校生、大学生等への出前授業や体験学習
○子供を持つ親世代への啓発 ○働く世代への啓発 ○高齢者への啓発

保健所全体として広報ツールや対象者へのアプローチルートを共有

3 主な新規・拡充事業等

I 健康づくりの推進・在宅医療の充実

- 新規** ・女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業 **稼げる** 11百万円
女性にやさしい社会づくりに向け、女性の健康に配慮した職場環境を推進するとともに、女性自身の健康リテラシー向上等の取り組みを進める。
- 新規** ・働く世代の健康づくり推進事業(地域・職域連携の推進) **稼げる** 8百万円
就労世代の健康づくりや事業所における健康経営を推進するため、「地域保健」と「職域保健」を推進する団体で新たに設置した会議において、市域の健康課題やそれぞれの取組を共有し、効果的・効率的な官民協働の取り組みを進める。
- 拡充** ・「生涯現役」元気に動ける身体づくり事業 **稼げる** 3百万円
高齢になっても生涯現役を目指し、元気に動いていきいきとした生活を送ることができるよう、健康づくりや介護予防に関する正しい知識の理解促進を図るための講演会等を開催する。
- 拡充** ・在宅医療普及啓発事業 **安らぐ** 12百万円
在宅医療に取り組む医師の確保や在宅医療への理解促進を図るため、医師等を対象とした研修会を開催するとともに、啓発資材の作成・配布や市民向け講演会等による普及啓発を実施する。

II 地域福祉・高齢者福祉の推進

- 安らぐ** 46百万円
・先進的介護「北九州モデル」推進事業（未来の介護大作戦）
介護人材不足に対応するため、介護ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進を図る。また介護助手活用モデルの社会実装による深化・拡充に取り組むとともに、在宅版「北九州モデル」の構築を推進する。
- 安らぐ** 21百万円
・介護シェアリング都市推進事業（未来の介護大作戦）
地域全体で介護をシェアリングすることや介護職に対する認知度の向上やイメージアップにつながる情報を発信することで、介護人材不足などの課題解決を図る。
- 安らぐ** 77百万円
・(仮称)テクノケア北九州運営事業関連（未来の介護大作戦）
介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、「介護実習・普及センター」と「介護ロボット等導入支援・普及促進センター」を統合し、在宅生活を支える支援拠点として2025年夏にリニューアルオープンする。
- 安らぐ** 9百万円
・認知症啓発促進事業
認知症に関する正しい知識を広め、認知症の人やその家族が安心して暮らせる認知症にやさしいまちづくりを行う。

- 新規**・安心して歳を重ねることができる終活支援事業 安らぐ 5百万円
 人生100年時代を迎えようとする中、持続可能な高齢化社会の構築を図るため、誰もが自分らしく安心して終活の取り組みを行えるよう、民間の力を最大限に活用しながら、終活を推進する仕組みづくりを行う。
- 拡充**・福祉の重層的支援体制強化 安らぐ 47百万円
 少子高齢化など社会環境の変化を背景に人と人とのつながりが希薄化する中、8050問題やダブルケアなど、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化し、従来の分野別の支援制度では対応が難しい事例が顕在化している。
 こうした課題に対応するため、国において、「①相談支援」「②参加支援」「③地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業により、分野を超えた多機関による支援や、人と人とのつながりづくりを進めることとした。
 北九州市では、「いのちをつなぐネットワーク」を強化・充実することで、重層的支援体制整備事業に取り組む。
- 新規**・民生委員児童委員一斉改選事業 安らぐ 10百万円
 令和7年12月1日の一斉改選に向け、体制整備や民生委員活動に必要な物品購入に係る経費を計上し、引き続き民生委員・児童委員活動がしやすい環境を整備する。（一斉改選は3年毎に実施）
- 新規**・チャレンジ！コネクトアクション 安らぐ 2百万円
 校(地)区社会福祉協議会等の既存の地域団体が自分たちの力だけでは解決できない課題に対し、NPO団体等のテーマ性や専門性を持った団体と連携して、「ゆるやかなつながりが地域課題を解決する」仕組みを構築する。
- 拡充**・ICTを活用した地域の見守り力強化事業 安らぐ 5百万円
 タブレット端末などのICTを活用し、定例会議のオンライン化や情報共有などを図ることで、仕事をしながらでも民生委員・児童委員活動がしやすい環境を整備する。
- 新規**・生活保護世帯の子どもの進路選択支援事業 安らぐ 9百万円
 中学生及び高校生の進路選択の相談等に訪問等の方法により応じることで、健全な育成と適切な進路を確保し、世帯の自立を支援する。
- 新規**・生活保護世帯の高校生等を対象とした就職等支援事業 安らぐ 9百万円
 主として就職を希望する高校生を対象に、本人の意向を踏まえつつ就職等を支援することで、世帯の自立を支援する。
- 拡充**・地域の人材創出事業 ～地域のウェルビーイング人財育成に向けて～ 安らぐ 3百万円
 地域活動・就業・生涯学習等の所管部署による連絡会議の発足や総合窓口の整備など、高齢者の生涯現役を応援する仕組みづくりを進める。
- 新規**・在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援 安らぐ 2百万円
 在宅の人工呼吸器使用患者が、大規模災害発生時に安心して避難生活を送ることができるよう、当事者や支援者、専門家等で構成するプロジェクトチームを起ち上げ、対応指針の作成(公助)、個別避難計画の作成(共助)、家庭における備えの総点検(自助)を実施する。

Ⅲ 障害福祉の推進

拡充 ・パラスポーツ体験を通じた「心のバリアフリー」促進事業 **安らぐ** 1百万円
子どもたちを対象としたパラスポーツ体験を通じて、障害や障害のある人の理解や相手への思いやり、コミュニケーションの重要性などの気づきを促し、「心のバリアフリー」の推進を図る。

拡充 ・発達障害者総合支援事業 **安らぐ** 37百万円
発達障害のある人や強度行動障害を有する人の地域生活の安定と福祉の向上を図るため、発達障害や強度行動障害についての普及・啓発、発達障害者支援センター(つばさ)の運営等を実施する。

Ⅳ 保健・衛生管理体制の充実

新規 ・健康危機に備えた市民のリテラシー向上事業 **安らぐ** 4百万円
健康危機(感染症・食中毒・医薬品等)の発生・拡大防止のため、市民一人ひとりが、感染症や食中毒の予防、医薬品の適正使用等について正しい知識を持ち、実践、継続できるようリテラシーの向上を図る。

・人と動物の共生社会推進事業 **安らぐ** 44百万円
収容動物の適正飼養や飼育環境(ソフト面)の向上によって、適切な健康・体調管理(容姿含む)や長期収容動物の馴化(人馴れ)を図り、譲渡の更なる推進と収容期間の短縮を進めるため、愛玩動物看護師や動物トリマーなどを活用する。

拡充 ・東部斎場への指定管理者制度の導入 **安らぐ** 169百万円
令和4年度から西部斎場に指定管理者制度を導入しており、東部斎場も条件が整ったため令和7年度から指定管理者制度を導入する。

掲載事業 担当課一覧

事業名	担当課	電話番号
-----	-----	------

I 健康づくりの推進・在宅医療の充実

(1)	新	女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業	健康推進課	093-582-2018
(2)	新	働く世代の健康づくり推進事業(地域・職域連携の推進)	健康推進課	093-582-2018
(3)	拡	「生涯現役」元気に動ける身体づくり事業	認知症支援・介護予防課	093-582-2063
(4)	拡	在宅医療普及啓発事業	地域医療課	093-582-2678

II 地域福祉・高齢者福祉の推進

(1)		先進的介護「北九州モデル」推進事業（未来の介護大作戦）	先進的介護システム推進室	093-582-2712
(2)	拡	介護シェアリング都市推進事業（未来の介護大作戦）	介護保険課	093-582-2771
(3)	拡	(仮称)テクノケア北九州運営事業関連（未来の介護大作戦）	地域リハビリテーション推進課	093-522-8724
(4)	拡	認知症啓発促進事業	認知症支援・介護予防課	093-582-2063
(5)	新	安心して歳を重ねることができる終活支援事業	長寿社会対策課	093-582-2407
(6)	拡	福祉の重層的支援体制強化	地域福祉推進課	093-582-2060
(7)	新	民生委員児童委員一斉改選事業	地域福祉推進課	093-582-2060
(8)	新	チャレンジ！コネクトアクション	地域福祉推進課	093-582-2060
(9)	拡	ICTを活用した地域の見守り力強化事業	地域福祉推進課	093-582-2060
(10)	新	生活保護世帯の子どもの進路選択支援事業	保護課	093-582-2445
(11)	新	生活保護世帯の高校生等を対象とした就職等支援事業	保護課	093-582-2445
(12)	拡	地域の人材創出事業 ～地域のウェルビーイング人財育成に向けて～	長寿社会対策課	093-582-2407
(13)	新	在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援	総務課	093-582-2497

III 障害福祉の推進

(1)	拡	パラスポーツ体験を通じた「心のバリアフリー」促進事業	障害福祉企画課	093-582-2453
(2)	拡	発達障害者総合支援事業	精神保健・地域移行推進課	093-582-2439

IV 保健・衛生管理体制の充実

(1)	新	健康危機に備えた市民のリテラシー向上事業	保健企画課	093-522-5721
(2)		人と動物の共生社会推進事業	動物愛護センター	093-581-1800
(3)	拡	東部斎場への指定管理者制度の導入	保健衛生課	093-582-2435

特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計	保険年金課	093-582-2415
介護保険特別会計	介護保険課	093-582-2771
後期高齢者医療特別会計	保険年金課	093-582-2415
食肉センター特別会計	食肉センター	093-521-0172
市立病院機構病院事業債管理特別会計	地域医療課	093-582-2678
病院事業会計	地域医療課	093-582-2678